

平成15年度 経営構造対策事業計画評価表（第4年度目）

都道府県名	石 川 県		施 設 整 備	事業内容	実施年度	受益戸数	面積
市町村名	加 賀 市			梨集出荷選果施設	平成12年度	39戸	35ha
地区名	金明地区						
認定年度	H12	目標年度		H16			

1 全国共通目標

事 項	計画時	目 標	目標達成プログラム (上段：計画 中段：実績 下段：達成率)					達 成 状 況 (評価)
			1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	
認定農業者の 育成(人)	3人	10人	4人	5人	6人	7人	10人	
			4人	9人	9人	9人		
			100.0%	300.0%	200.0%	150.0%	0.0%	
担い手への農地の 利用集積(ha) ( 上段( )は 積率で% )	(44.6%)  136ha	(65.9%)  201ha	(47.8%) 146ha	(51.1%) 156ha	(54.4%) 166ha	(57.7%) 176ha	(65.9%) 201ha	
			(48.9%) 149.0ha	(52.5%) 160.0ha	(54.4%) 166.0ha	(67.1%) 204.8ha		
			130.0%	120.0%	100.0%	172.0%		
遊休農地の解消	0ha	0ha	0.00ha	0.00ha	0.00ha	0.00ha	0.00ha	
			0.00ha	0.00ha	0.00ha	0.00ha		
			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
地域提案目標 (項目： )								

## 2 地区選択目標

### (1)一般選択目標

事 項	計画時	目 標	目標達成プログラム (上段：計画 中段：実績 下段：達成率)					達 成 状 況 (評価)
			1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	
梨の拡大 (単位：ha)	29	35	30	31	32	33	35	×
			30ha	31ha	31.3ha	31.3ha		
			100%	100%	76.7%	57.5%		
大豆の拡大 (単位：ha)	8.6	14.6	9.0	10.0	11.0	12.0	14.6	
			16.9ha	13.1ha	18.2ha	23.2		
			2075.0%	321.4%	400.0%	429.4%		
ブロッコリーの拡大 (単位：ha)	5.9	13.6	6.8	7.9	8.8	9.7	13.6	
			8.7	10.4	10.2	10.5		
			311.1%	225.0%	148.2%	121.0%		
組織受託面積の拡大 (単位：ha)	21	37	24	27	30	33	37	
			26	29	43	101.9		
			166.6%	133.3%	244.4%	674.1%		
準認定農業者の生産 拡大 (単位：ha)	104	117	106	108	110	112	117	
			107	108	110	155		
			150.0%	100.0%	100.0%	637.5%		
学童等体験拡大 (単位：回数/年)	0	3	1	1	2	3	3	
			1	2	2	3		
			100.0%	200.0%	100.0%	100.0%		

### (2)水田農業構造改革目標

#### ア．作付面積

作 物 名	計画時	目 標	目標達成プログラム (上段：計画 中段：実績 下段：達成率)					達 成 状 況 (評価)
			1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	

#### イ．販売計画

作 物 名	計画時	目 標	目標達成プログラム (上段：計画 中段：実績 下段：達成率)					達 成 状 況 (評価)
			1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	

### 3 所見及び改善措置等

#### (1) 全国共通目標

##### 認定農業者の育成

本年度に新たな認定者はいなかったが、4年目のプログラムを超えている。次年度以降も計画的な育成を行う。

##### 担い手への農地の利用集積

4年目の目標を達成。今後とも関係機関との連携を強化し一体的な推進を図る。

##### 遊休農地の解消

今のところ耕作放棄地は見当たらない状況である。

##### 地域提案目標

#### (2) 地区選択目標

##### 梨の拡大

本年度の栽培面積は増加しなかった。そのため、事業主体をはじめ梨生産農家・関係機関により梨の栽培面積の拡大について協議した。梨の生産農家が自ら新植の実施や地区内の梨の栽培農家の選果施設への利用促進を行う。また、果樹園を開設するにあたっての設備への多大な投資や、収穫までに長期間を要することなどの弊害を解消すべく、昨年度より「早期成園化技術実証圃」を設置しており、この実証に併せ、認定農業者及び準認定農業者の中から規模拡大希望者を掘り起こし、今後の面積拡大を図る。

##### 大豆の拡大

4年目の目標を大幅に達成。ブロックローテーション等の活用により今後も拡大を推進していく。ブロッコリーとともに産地作り対策の助成を行い規模拡大を図る。

##### ブロッコリーの拡大

農協の振興作物の1つであり市場評価もよく、また産地作り対策の助成を行い、今後も新規栽培者の確保にも力を入れていく。

##### 組織受託面積の拡大

4年目のプログラムを達成した。今後も農協の営農指導による面積拡大と、新設受託組織の面積拡大を推進していく。

##### 準認定農業者の生産拡大

4年目の目標を達成。今後も中核農家1人当りの生産拡大を図っていく。

##### 学童等体験拡大

金明保育園児にサツマイモの定植・収穫作業及び金明小学校での田植えを体験してもらった。今後とも地区内の栽培作業を体験してもらい農業への親しみと理解を深めてもらう。

#### (3) 施設の利用状況

・ 梨の単価の値下がりにより直売への流失が多くなり集出荷選果施設の利用率が低下した。今後は受益戸数以外の梨栽培農家の選果施設利用を働きかける。

また、梨生産農家及び小塩辻梨生産組合、加賀農業協同組合、県加賀農林事務所（普及専門員）、加賀市等の関係機関の連携を密にし、梨の生産農家への指導を実施する。

#### (4) 担い手の受益割合

・ 過去15年度を抜かして担い手の受益割合は少ないながら高まっている。次年度以降も施設の利用促進を推進するよう指導を行なう。

添付資料 1

都道府県経営・生産対策推進会議の所見

金明地区

(1) 全国共通目標

認定農業者の育成については、目標を達成しているが、平成14年度から増えておらず、目標年度に向けて関係機関の連携を強化し育成・確保を図る必要がある。

担い手への農地の利用集積についてはすでに目標年度の集積を達成しているが、今後とも集積を図る必要がある。

引き続き担い手の利用集積を図り、遊休農地発生の抑制に努める必要がある。

(2) 地区選択目標

梨面積の拡大を除いては、目標を達成している。

近年の価格下落等の影響により、多額の投資をして新植することが難しい状況である。面積の拡大を推進するに当たり、新技術の開発・施設の利用促進等により経営の安定化を図る必要がある。

(3) 施設の利用状況

シンクイムシ及び蜜果症の発生により、生産量は大幅に減少した。

今後は、発生予察に基づく的確な防除の実施・防除体系の見直し・フェロモンによる防除試験への取り組み及び新品種の導入により生産量を確保し、施設の利用率の向上を図る必要がある。

添付資料 2

施設等の利用状況及び担い手の受益割合報告書

施設名	事業主体（監理主体）
梨集出荷選果施設	加賀農業協同組合

1 利用計画に対する利用状況

		施設の利用 (t)	利用率 (%)	達成状況
利用計画		656		
実績	平成12年度	419	63.9	×
	平成13年度	492	75.0	
	平成14年度	410	62.5	×
	平成15年度	359	54.7	×

2 担い手の受益割合

		施設の利用 (t)	左のうち担い手の 利用(t)	担い手の受益割 合(%)	達成状況
		A	B	B/A	
利用計画		656			
実績	平成12年度	419	328	78.3	
	平成13年度	492	391	79.5	
	平成14年度	410	330	80.5	
	平成15年度	359	275	76.6	